

エコ農業学校参加者募集！

県では化学肥料や化学合成農薬を減らした農業に取り組みたい、もしくは取組をさらにレベルアップしたい生産者、また、エコ農産物の販売や飲食店での活用をお考えの実需者を対象に、環境にやさしい農業(エコ農業)の技術習得や販売先のニーズ等について知識を深めるための「エコ農業学校」を開催します。

第1回(対象：生産者) 終了しました

ねらい：環境にやさしい農業技術の向上

日時：平成30年8月23日(木) 13:30~16:20

場所：青森県営農大学校

内容：①講演 緑肥作物の導入で省力・低コストの野菜づくり

講師：NO-RA~農楽~ 千葉康伸 氏

②事例発表：三八地域県民局におけるながいもの輪作体系に関する調査結果

③現地ほ場見学及び情報交換

取組紹介：成田勝敏 氏(七戸町)

第2回(対象：生産者、販売店や飲食店等実需者) 募集中！

(詳細は裏面)

ねらい：エコ農産物の販売促進

日時：平成30年12月11日(火) 13:30~16:00

場所：青森県観光物産館アスパム 8階 しらかみ

内容：①講演 生産者のネットワークで環境にやさしい農産物の販売拡大

講師：(株)マルタ 代表取締役 佐伯 昌彦 氏

②講演 持続可能な農業のこれから。坂ノ途中とfarmOの取り組みを例に

講師：(株)坂ノ途中 代表取締役 小野 邦彦 氏

第3回(対象：生産者) 準備中

ねらい：環境にやさしい農業技術の向上

日時：平成31年2月中旬

場所：青森市内

内容：①講演 果樹のIPMによる病害虫管理について

②取組事例紹介

【申込み・問合せ先】

青森県農林水産部 食の安全・安心推進課 環境農業グループ

住所 〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1

電話 017-734-9353(直通) FAX 017-734-8086

メールアドレス SANZEN@pref.aomori.lg.jp



皆様の御参加をお待ちしています！

第2回講座開催内容

- 日時：平成30年12月11日(火) 13:30~16:00
- 場所：青森県観光物産館アスパム(青森市安方1-1-40 TEL 017-735-5311)
- 内容：講演1 「生産者のネットワークで環境にやさしい農産物の販売拡大」
講師：(株)マルタ 代表取締役 佐伯 昌彦 氏
講演2 「持続可能な農業のこれから。坂ノ途中とfarmOの取り組みを例に」
講師：(株)坂ノ途中 代表取締役 小野 邦彦 氏

<(株)マルタ 代表取締役 佐伯昌彦 氏の紹介>

(株)マルタ(東京都)は、全国の契約生産者が出資して創った株式会社で、北海道から沖縄まで全国約1600名の土づくりにこだわる生産者が集まり、「有機農業を農業の主流に」をスローガンに、青果物卸売事業を中心に行うネットワーク型の組織。(株)マルタの代表取締役の佐伯氏自身も生産者であり、北海道洞爺湖町で総面積約10haのほ場でミニトマトやセルリなどを栽培し、ミニトマトは2000年から有機JASを取得、2009年からはグローバルGAP認証を取得して、環境保全型農業の推進に取り組んでいる。



<(株)坂ノ途中 代表取締役 小野邦彦 氏の紹介>

(株)坂ノ途中(京都市)は、「100年先も続く農業」をコンセプトに小野氏が設立し、環境に負担をかけない農業を志す生産者の野菜をインターネット通販やレストラン・小売店向け卸で流通させている。特に、新規就農者のサポートに特に力を注いでおり、関西を中心におよそ200軒ある取引農家の約9割が新規就農者である。

小野氏が「次代の農と食をつくる会」のメンバーとして、webサイト「farmO(ファーム)」の開発運営も行っている。「farmO」は、有機農産物の生産者さんと取り扱いたいバイヤーさんがオンライン上で自由に出会える場、それぞれの試行錯誤や情報をシェアし、有機農業を前向きに、オープンに語り合える場となっている。



farmOの由来

farmO(ファーム)とは、「Farm」と「Organic・Eco」とを組み合わせた造語です。大文字のOには、「つながる」「循環」という意味も込めています。
<https://www.farm-o.net/>

【申込方法】 以下の申込書に必要事項を記載のうえ、FAX、メールまたは郵便で、県食の安全・安心推進課へお申し込みください。 ★平成30年11月30日(金)まで★

(エコ農業学校第2回講座参加申込書)

所属/職業	氏名	住所	電話番号	作付け品目※

※生産者の方は御記入願います。